理学研究科数学専攻博士後期課程履修モデル

2021年4月1日

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">講義</td><td>研究指導</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">社会性・国際性を養う科目群</td><td rowspan="3">指導教員による指導制

◎ 選択必修科目</td></tr>
<tr><td>科目区分</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>研究の中心領域</td><td colspan="2">倫理観・社会への応用・環境・安全性等を学ぶ科目</td><td>数学系の先端的研究を国際性も含めて広い視野で幅広く学ぶ科目</td></tr>
<tr><td>代数学

幾何学

解析学

確率・統計</td><td>知財情報科学（1単位）
環境安全科学（1単位）
科学者・技術者の倫理（1単位）
知的財産特論（2単位）
科学文化概論（2単位）
サイエンス・ライティング（2単位）
Academic English 1（2単位）
Academic English 2（2単位）
Presentation Skills（2単位）
ウォーターサイエンス特論（2単位）
物理学から見る理学の世界1（1単位）
物理学から見る理学の世界2（1単位）
物理学から見る理学の最前線1（1単位）
物理学から見る理学の最前線2（1単位）
物理学から見る理学の未来1（1単位）
物理学から見る理学の未来2（1単位）
実践的リーダシップを学ぶ（2単位）
Japan's diplomacy in the context of globalization （2単位）</td><td>数学研究概論（1単位）(1年)
特別講義（五）～（十）
（1単位）(1年)</td><td>「大学院数学連絡協議会」加盟11校相互の講義の聴講・単位互換制度
津田塾大学、中央大学、学習院大学、上智大学、国際基督教大学、明治大学、日本大学、日本女子大学、立教大学、東京女子大学、東京理科大学</td><td>◎代数学／幾何学／解析学／確率・統計研究（一）（10単位）(1年)
◎代数学／幾何学／解析学／確率・統計研究（二）（10単位）(1年～3年)
◎代数学／幾何学／解析学／確率・統計研究（三）（10単位）(1年～3年)

1年
先行研究の調査
最終目標の設定
研究計画立案
研究活動・研究室ゼミ

2年
自立的研究活動・研究室ゼミ
国内外での学会・シンポジウム等で発表・意見交換
学術論文作成・投稿

3年
自立的先端研究活動・研究室ゼミ
国内外での学会・シンポジウム等で発表・意見交換
学術論文作成・投稿
博士論文作成、公聴会での発表、学位審査請求、提出、学位取得</td></tr>
<tr><td></td><td>4単位修得</td><td>1単位修得</td><td></td><td>30単位修得</td></tr>
</table>

修了後の進路	大学教員・ポストドクトラルフェロー 中学高等学校教員 企業（金融、情報関連他）等の開発技術者・研究者 公務員 他